

2024 年度 人文学類卒業生アンケート結果について

人文学類 FD 委員会

人文学類 FD 委員会では、2024 年度に実施された卒業生アンケートの結果を公開いたしますとともに、問題点や課題を明らかにすることで、人文学類における今後の教育改善に向けて役立てていただきたいと思います。

アンケート実施時期： 2025 年 3月7日～24日

対象学生数： 人文学類 2024 年度卒業生 128人

回答者数： 72 名（回答率 56%）

2024 年度の人文学類卒業生アンケートの回収状況は、学類の学位記伝達式を実施した際に呼びかけを行い、前年度の回答率（54%）とほぼ同じであった。コース・分野で回答状況に違いがあるため、前年度同様に、学類単位での総計データに基づいて分析をおこなうこととする。

表 2024 年度卒業生アンケート結果

	1. そう思う	2. ややそう思う	3. あまりそう思わない	4. そう思わない	5. どちらとも言えない	高評価率 (1と2の合計)
Q1 幅広い教養や社会的常識を身につけることができた。	51.4	44.4	2.8	0.0	0.0	95.8
Q2 今後の活動に必要な専門知識や技術の基礎を身につけることができた。	48.6	47.2	4.2	0.0	0.0	95.8
Q3 自ら課題を発見し解決する能力を身につけることができた。	45.8	50.0	4.2	0.0	0.0	95.8
Q4 様々な状況に対応するコミュニケーション能力を磨くことができた。	51.4	43.1	2.8	0.0	1.4	94.4
Q5 プレゼンテーションの能力を磨くことができた。	30.6	52.8	13.9	0.0	2.8	83.3
Q6 異文化に関する理解力を高め、異なる視点から諸事象を把握する能力を身につけることができた。	40.3	51.4	4.2	2.8	1.4	91.7
Q7 人間や社会のあり方を論理的に理解する能力を身につけることができた。	52.8	41.7	1.4	1.4	2.8	94.4
Q8 人間や社会の諸問題を、歴史的背景をふまえて把握する能力を身につけることができた。	47.2	45.8	2.8	1.4	2.8	93.1
Q9 文献や文学作品の読解力を高め、ことばに対する感性を養うことができた。	50.0	38.9	6.9	2.8	1.4	88.9
Q10 全体として、金沢大学人文学類で学んだことに満足している。	75.0	25.0	0.0	0.0	-	

2023 年度との比較を行うと、全般的に同様の傾向がみられ、全体的な高評価を維持していると言える。

「Q10 全体として、金沢大学人文学類で学んだことに満足している」では、2019 年度 95.7%、2020 年度 90.2%、ともに 9 割を超え、2021 年度に 100%となった。その後 3 年続けて、100%を維持した。満足度は非常に高い。

評価が 5 ポイント以上上下に変動した項目はない。 高い評価の水準は維持できた。

最も高い評価のカテゴリー（1.そう思う）に注目してみると、「Q7 人間や社会のあり方を論理的に理解する能力を身につけることができた。」が前年 38.9%から 52.8%に上昇しており、人間社会の理解を達成できたという学生の理解が高まっている。逆に「Q5 プレゼンテーションの能力を磨くことができた。」は、38.9%から 30.6%に低下している。従来、他の項目に対して「プレゼンテーション能力」は評価が少し低い傾向があるのだが、授業の必要に応じて今後も改善の余地があると言えるかもしれない。ただし、あまり大きな違いではない。

総じていえば、今年度の卒業生も人文学類の教育に満足していたと判定することができるだろう。